

## 2. 第3次計画における取り組み成果と課題

第3次計画における、基本施策ごとの成果と今後の課題については、以下のとおりです。

### 目標 1 つながり合い、支え合う共生のまちづくり

#### 基本施策1 地域丸ごとの共生のまちづくり

##### 【主な取り組みと成果】

取組成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援コーディネーターを社会福祉協議会に配置。コミュニティワーカーと連携し、全市域における地域づくりを推進。</li> <li>・見守りが必要な高齢者や障がいのある人等、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げる「地域ふれ愛福祉サロン」や、参加者を限定しない「地域交流カフェ」、多世代間交流の場ともなる「こども食堂」等つどいの場の活動を支援した。</li> <li>・市内のこども食堂の運営者等による交流会を実施。情報交換や交流を通じ、連携の推進や活動の充実を図るとともに地域における居場所づくり活動の醸成を図った。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会等の関係機関と連携し、地域での居場所づくりに対し、立ち上げや運営、関係機関との連携についての支援。</li> <li>・地域住民が主体的に地域課題の解決に向け、協議や協働を行うための仕組みの検討。</li> <li>・地域住民と専門職が円滑に連携し、つながり合うことのできる体制</li> </ul>

### 目標 1 つながり合い、支え合う共生のまちづくり

#### 基本施策2 日常生活圏域における地域福祉活動の推進

##### 【主な取り組みと成果】

取組成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治組織の福祉部長による福祉部連絡会を設置。福祉施策等の説明や意見交換を通じ、地域における福祉活動への協力と理解を深めた。</li> <li>・地域福祉ネット会議での協議から立ち上がったこどもの居場所づくりや地域交流、地域活動情報誌作成などの地域活動を支援。</li> <li>・社会福祉協議会や地域包括支援センター等と連携し、地域福祉ネット会議の開催支援や地区ボランティアセンターの活動支援、地区ボランティアセンターに関するコーディネーター研修会等を実施。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉ネット会議や地区ボランティアセンターの活動支援を継続するとともに、地域の福祉活動を促進、支援する取り組み。</li> <li>・ゴミ出し支援や移動支援といった日常生活を支援する仕組みなど地域課題の解決に向け、専門職や地域活動者、関連機関等がともに協議する仕組み。</li> </ul>

目 標 1 つながり合い、支え合う共生のまちづくり

基本施策3 全市的で多様な地域福祉活動への支援

【主な取り組みと成果】

取 組 成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>• 管理が難しくなった耕地を活用し、近隣住民や子ども、障がい者、ひきこもりがちな方等が農作業を通じた交流の場を実施。</li><li>• 定年退職後の新たな活動を見つけるきっかけづくりを目的とした「地域デビュー応援講座」や「認知症サポーターステップアップ講座」等のボランティア養成講座を実施。</li><li>• こどもの居場所づくり講座や、ボランティア同士の交流や情報交換を目的としたボランティア交流会、ボランティア活動の活性化等をめざしたスマホ講座等を実施。</li></ul>
今後の 課 題	<ul style="list-style-type: none"><li>• さまざまな地域福祉活動やボランティア活動への参加を働きかけるため、ボランティア講座の開催をはじめとして、福祉関連の講座や行事についての積極的な周知・啓発。</li><li>• 市民活動と地域福祉課題とのマッチング等を行うなど、多様な担い手の育成。</li></ul>

目 標 1 つながり合い、支え合う共生のまちづくり

基本施策4 共生のまちづくりのための福祉教育

【主な取り組みと成果】

取 組 成 果	<ul style="list-style-type: none"><li>• 共生福祉社会の実現に向けた取り組みを参加者に広く啓発。</li><li>• 児童・生徒のボランティア意識の醸成等を目的としたなつボランティア体験学習を実施。（令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて未実施。）</li></ul>
今後の 課 題	<ul style="list-style-type: none"><li>• 共生福祉社会フォーラム等を通じて、共生福祉社会の実現に向けた地域づくり活動を広く啓発するなど、共生福祉社会に対する理解と意識醸成。</li><li>• こどもを対象としたボランティア講座と地域におけるボランティアや活動をマッチングするなど、若年層の地域づくりに対する関心の向上。</li></ul>

## 目標 2 多様な主体の協働による誰もが活躍できる仕組みづくり

### 基本施策1 社会資源の連携と開発

#### 【主な取り組みと成果】

取組 成果	<ul style="list-style-type: none"><li>参加支援コーディネーターを社会福祉協議会に配置。地域づくり支援及び相談支援と連携した社会参加の場づくりやマッチングを推進。</li><li>地域福祉活動のプラットフォームとして、多様な主体が参加する「共生福祉社会推進会議」を設置。</li><li>各分野における就労支援について、情報や課題の共有を行うとともに、支援員同士の連携や資質向上を図るため「地域における多様な連携による就労支援に関するワークショップ」を実施。</li><li>多様な企業や事業所との連携や協働を推進していくため異業種交流や地域活動等に関するアンケートを実施。</li><li>生活支援コーディネーターによる地域資源の開発・連携やニーズとのマッチング等により、多様なつどいの場の実施支援や、新たなつどいの場づくりの推進等地域福祉活動を支援。</li><li>ヤングケアラーや就労、住まい、多頭飼育崩壊などに対する支援について、福祉分野と他分野との連携推進に向けた関係部署との検討を実施。</li></ul>
今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"><li>市内の市民活動支援組織との連携強化やニーズに沿ったボランティアの養成等を行うとともに、異業種交流会の実施等、地域課題と向き合う福祉の枠を超えたネットワークづくり。</li><li>ゴミ屋敷等の住居荒廃事案などの地域課題への支援に向け庁内各部署及び伊丹市社会福祉協議会等と分野を超えた検討。</li></ul>

## 目標 2 多様な主体の協働による誰もが活躍できる仕組みづくり

### 基本施策2 地域の見守り体制の充実援

#### 【主な取り組みと成果】

取組 成果	<ul style="list-style-type: none"><li>サロン等のつどいの場で地域で見守りが必要な人の情報共有等を行う場となる「ご近所会」を推進するため、「ご近所会を検討する会」を開催。啓発、推進していくうえでの課題や方策等について意見交換や検討を行い、ご近所会の啓発冊子を作成。</li><li>啓発冊子等を活用し、サロン等のつどいの場において、地域で見守りが必要な人の情報共有等を行う場となる「ご近所会」の推進に取り組んだ。</li><li>「ご近所会」の実践報告等を通じ、市民が地域の見守り・支え合いについて考える機会として「地域支えあいフォーラム」を実施。</li></ul>
今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"><li>サロン等運営者等に「ご近所会」の意義や目的をわかりやすく説明するなど、各つどいの場におけるご近所会の取り組みを推進し、身近な地域での見守り体制の強化。</li></ul>

## 目標 2 多様な主体の協働による誰もが活躍できる仕組みづくり

### 基本施策3 災害にも強い日常的な支援体制の構築

#### 【主な取り組みと成果】

取組成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、総合防災訓練や防災啓発事業が中止または縮小しての実施となったが、LINE 防災アプリを活用した市民参加型の図上訓練を実施。</li><li>・南海トラフ大地震の想定や新しい避難レベルの枠組み、避難所における感染症対策等の新しい概念を取り入れて防災訓練や啓発を行った。</li><li>・「避難行動要支援者支援制度」、地域で支援の必要な市民の情報を自治会等と共有する共助の仕組みを推進。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・関係団体等と連携し、広い層に対して自助・共助意識を高める防災訓練の実施や、LINE やいたみ防災ネット、FM いたみ等広報媒体を通じた啓発活動。</li><li>・地域住民による防災講座や避難訓練、避難所訓練等の災害に備えた活動に対する支援</li></ul>

## 目標 3 誰もが自分らしく暮らすための体制づくり

### 基本施策1 総合相談支援体制の充実

#### 【主な取り組みと成果】

取組成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・相談支援コーディネーターを市と社会福祉協議会に配置。関係機関との連携を円滑化、包括的相談支援体制を推進。</li><li>・高齢、障害、子ども、生活困窮、健康等の相談業務を担う部署に包括化支援担当者を配置。</li><li>・共生福祉社会庁内推進会議を設置。庁内における包括的支援への理解と連携体制の強化を図った。</li><li>・相談支援や地域支援、参加支援の各コーディネーターをはじめ、各課の包括化支援担当者等により重層的支援体制の整備について検討、相談窓口を中心としたネットワークの強化を進め、多機関協働のための仕組みを整備。</li><li>・多機関協働事業マニュアルを作成し、包括的な支援を行う仕組みとして包括化支援担当者会議を月1回実施。多機関が協働し、複合課題を抱えた事例支援について検討。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・包括的な支援体制の整備に向け、相談支援に携わる機関による包括化支援担当者会議を通じ、複雑・複合的な課題を有する個別事例や地域課題の解決に向けた検討を行う相談支援ネットワークの強化。</li><li>・アウトリーチ支援員による継続的な支援を実施し、更なる包括的支援体制の整備。</li><li>・プロジェクトの創出や既存事業のリノベーションを図る連携や協働の場を設けるため、既存の事業を担当する関係部署とともに重層的支援体制整備事業の評価活動及び検討。</li></ul>

### 目標 3 誰もが自分らしく暮らすための体制づくり

#### 基本施策2 権利擁護支援体制の強化

##### 【主な取り組みと成果】

取組成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・権利擁護支援の中核機関となる福祉権利擁護センターにおいて、法律専門職や関係機関と連携しながら権利擁護に関する相談や申立て支援、啓発、市民後見人の養成や支援などを実施。</li><li>・伊丹市成年後見制度利用促進委員会において、法律専門職や関係機関との地域連携ネットワークを強化するとともに、受任調整機能として成年後見人のリレー形式の検討を実施。</li><li>・福祉権利擁護センターを中心に、受任調整機能の拡充やチーム支援体制の推進といった権利擁護に関する相談支援体制の整備を進めた。また、法人後見人から市民後見人へと引き継ぐ受任調整会議を先駆的に実施し、法人後見人等を支援。</li><li>・伊丹市成年後見制度利用促進委員会において、親族後見人及び専門職後見人への支援について検討。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症や障害等により判断能力に不安を抱える人を必要な支援につなげるため、更なる成年後見制度の周知啓発と弁護士等専門職や行政、関係機関の連携強化、地域連携ネットワークの拡大。</li><li>・親族後見人の支援に向け体験講座の実施や啓発チラシの配布を実施するなど、後見活動に悩みを持つ家族に対する支援。</li><li>・福祉専門職に向け、成年後見業務の正しい理解と福祉職と後見人の連携のあり方についての理解促進。</li><li>・専門職後見人と福祉専門職の連携が円滑に進むよう調整する、コーディネート機能が必要。</li></ul>

### 目標 3 誰もが自分らしく暮らすための体制づくり

#### 基本施策3 情報提供体制の充実

##### 【主な取り組みと成果】

取組成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・Zoom等のICTを活用した相談やボランティア活動、人材養成等の実施。</li><li>・ボランティアグループが行う活動発表を介護施設へオンライン配信。</li><li>・ボランティア活動の活性化を図ることを目的とした「ボランティア活動情報」の月2回の発行や市内商業施設、郵便局への情報提供、SNSを活用した情報発信を実施。</li><li>・ボランティアグループのつながりづくりやボランティア活動の啓発等のため、いきいきプラザのロビー等を使用してイベントや講座、作品展を行ったほか、コロナ禍における新しいつながりづくり等を目的として、市内通所介護施設へ開催の様子をオンライン配信。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども食堂やふれあい福祉サロン等の多様な地域の居場所や地域福祉活動に関し、多様な情報発信を行い、広く周知を図るとともに活動への意欲につなげる工夫。</li><li>・情報提供を行う際、格差が生じないように、情報提供のバリアフリー化。</li></ul>

◆重点的な取り組みにかかる指標◆

目標 1 つながり合い、支え合う共生のまちづくり

基本 施策	取り組み	指標	計画策定時 (令和元年度)	現状値 (令和5年度)	性質
1 地域丸ごとの 共生のまちづくり	住民主体の協議の場 の充実	地域支援コーディネー ターの配置	—	1名	○
	多様なつどいの場づ くりの推進	地域ふれ愛福祉サロン、 地域交流カフェ、こども 食堂等のつどいの場数	151箇所	148箇所	→
2 日常生活圏域における 地域福祉活動の推進	地域自治組織などによ る地域福祉活動の 促進と支援	住民対象の研修会、住 民座談会等の実施数	9回	11回	↗
	地区ボランティア活 動を通じた地域の福 祉力の強化	地区ボランティアセン ター登録者数	454人	405人	→
3 全市的で多様な 地域福祉活動への支援	ボランティア・市民 活動センターの強化	ボランティア・市民活 動センターの登録者数	2,058人	2,030人	↗
	ボランティア・市民 活動センターの強化	ボランティア・市民活 動センターの派遣人数	10,423人	3,186人 ※	↗
4 共生のまちづくり のための福祉教育	福祉学習の環境支 援・仕組みづくりの 強化	学校・PTA等からの 相談対応数	31件	51件	↗
	福祉学習の環境支 援・仕組みづくりの 強化	子どもを対象としたボ ランティア体験学習参 加者数	11人	18人	↗

※「ボランティア・市民活動センターの派遣人数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により施設等での活動が制限されたため、大きく減少しています。

※「性質」の凡例…○：達成、↗：増加、→：維持

目標 2 多様な主体の協働による誰もが活躍できる仕組みづくり

基本 施策	取り組み	指標	計画策定時 (令和元年度)	現状値 (令和5年度)	性質
1 社会資源の連携と開発	参加支援コーディネーターの配置	参加支援コーディネーターの配置	—	1名	○
	参加支援コーディネーターの配置	参加支援コーディネーター対応件数	—	82件	↗
2 地域の見守り体制の充実	「ご近所安心ネットワーク」事業の推進	ご近所安心ネットワーク数（(仮)つどい場情報交換会等含む）	6カ所	6カ所	→
	「ご近所安心ネットワーク」事業の推進	ご近所会数	—	63カ所	↗
3 災害にも強い 日常的な支援体制の構築	避難行動要支援者支援制度の推進	避難行動要支援者支援制度同意確認書同意者数	2,786人	4,556人	↗
	避難行動要支援者支援制度の推進	避難行動要支援者名簿提供の協定締結地区	13地区	18地区	↗

※「性質」の凡例…○：達成、↗：増加、→：維持

目標3 誰もが自分らしく暮らすための体制づくり

本 施策	取り組み	指標	計画策定時 (令和元年度)	現状値 (令和5年度)	性質
1 総合相談支援体制の充実	相談支援コーディネーター等の配置	相談支援コーディネーターの配置	—	2名	○
	相談支援包括化ネットワークの構築	包括化支援担当者会議による包括的支援件数	—	10件	↗
2 権利擁護支援体制の強化	伊丹市福祉権利擁護センターの運営	福祉権利擁護センター相談件数	858件	1,025件	↗
	伊丹市福祉権利擁護センターの運営	市長申立件数	12件	19件	↗
3 情報提供体制の充実	情報発信の充実と連携	いきいきプラザ等で実施されるボランティア活動の啓発事業「たみとものわ」実施回数	8回	5回	↗
	情報発信の充実と連携	ボランティア活動情報発行部数	4,415部	3,060部	→

※「性質」の凡例…○：達成、↗：増加、→：維持